

令和6年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面(集合型)

研修名	中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップデート				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 学習指導 ICTや情報・教育データの利活用	プログラム指標 (しまだい)	授業デザイン		
キャリアステージ	自立・向上期(1～10年目)	○	研修レベル	基礎(学部1・2年レベル)	
	探究・発展期(10～20年目)	○		応用(学部3・4年レベル)	○
	充実・円熟期(20年目以降)	○		発展(大学院レベル)	
開設日	令和6年7月30日(火)	時間数	6時間	定員	15名
会場	山陰教員研修センター (島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設)	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	講義、演習	対象校種	中学校, 義務教育学校後期課程 (対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。)		
		対象教科	技術・家庭(対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。)		
実施方法	対面(集合型)	対象職種	教諭、講師		
担当講師	橋爪 一治(島根大学教育学部 教授)				
研修内容	<p>中学校技術・家庭科技術分野の問題解決について、最新の知見にもとづいた内容を提案します。</p> <p>特に、エネルギー変換の技術や情報の技術あるいは、相互に統合した問題解決について考えてます。これまでのキットを用いた問題解決から、個別最適な学びに対応し、学習指導要領の具現化に転換するところをねらいとした問題解決への変換を目指します。</p>				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8:40～9:00	受付			
	9:00～9:10	オリエンテーション			
	9:10～10:30	内容Cエネルギー変換の技術に関する問題解決			
	10:30～12:00	内容D情報の技術における計測・制御の問題解決			
	13:00～14:30	統合的な問題解決の題材検討			
	14:30～16:00	統合的な問題解決の題材の実際			
16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時				
研修に関して各自準備するもの	ノートPC, +, -ドライバやラジオペンチなど TEC 未来の組立に必要な工具一式				
事前課題	受講者には、今指導している問題解決を行うものづくりの題材を紹介していただきます。				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 hashitsume@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 				